

神奈川県議会議員

川崎 修平

活動レポート Vol.15

〈編集・発行〉川崎修平事務所／自民党鶴見区第一支部
〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央 1-13-9-101
TEL 045-642-6322 FAX 045-642-6661

「鶴見を安心して安全な街にするために、本年も精一杯活動してまいります」

2022 年を迎え、早いもので国内で新型コロナウイルスの感染者が確認されてから 2 年が経とうとしています。改めまして、日頃より感染症対策にご協力いただいている皆様と、最前線で治療・対応・研究等に当たってくださっている医療従事者・関係者の皆様に感謝申し上げます。

昨年より、私は神奈川県の「新型コロナウイルス感染症対策特別委員会」の部会長と、保健医療や生活衛生等を扱う「厚生常任委員会」の部会長を拝命し、神奈川県におけるワクチン接種のタイミングや会場の整備、医療体制・宿泊療養施設の確保などに取り組んでまいりました。また、それと並行して、私のライフワークである「防災講演会」や「新型コロナウイルスに関する講演」なども感染症対策を徹底しながら引き続き開催をさせていただき、少しでも鶴見が安心して安全に暮らせる街に近づけるよう活動しております。



昨年は横浜市長選挙での出馬・落選を受けて、長らく神奈川三区（鶴見区・神奈川区）で議席を守り続けてきた小此木八郎さんが政界引退をされたり、神奈川三区支部長の後任である中西けんじさんが 10 月の総選挙で当選を果たされるなど、私にとっても、神奈川三区にとっても非常に大きな出来事が続く 1 年ではありましたが、皆様の温かいご理解とご協力のおかげで何とか鶴見区選出の自民党国会議員を欠かすことなく新たなスタートを切ることが出来ました。

世間では新たな変異株の登場により、まだまだ気を抜けない日々が続いておりますが、私も皆様が少しでも安心して安全に生活ができるよう、第 6 波に備えて 3 回目のワクチン接種の調整や病床、宿泊料用施設の確保等に努めてまいります。このご時世によりなかなか直接お目に掛かれる機会も減ってしまいますが、引き続き地元鶴見区の為に精一杯活動してまいりますので、本年も変わらぬご理解・ご協力のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

神奈川県議会議員

川崎 修平

令和3年12月6日。神奈川県議会第3回定例会において一般質問を行いました。今年、毎年恒例の防災・減災対策に加え、若い人材の育成やデジタル技術に関連する項目を中心に質問を行っています。質問の様子は県議会のアーカイブでも動画を見ることが出来ますので、ご興味のある方は是非ご覧ください。

①若手県職員の活躍の場の創出について

若手県職員のモチベーションを向上させ、活躍の場を創出していく取組を本県でも進めていくべきと考えるが、見解を伺いたい。

②クラウド型電子契約の導入について

スピーディーに物事を進めて仕事を効率化していくためにも、本県も電子契約を積極的に導入していくべきだと考えるが、見解を伺いたい。

③高校のプログラミング教育必修化等に向けた教員の採用・育成について

高校における情報科目の充実を契機として、県教育委員会では、教員の専門性の向上にどのように取り組んでいくのか、見解を伺いたい。

④デジタル技術を活用した災害対応について

本県でも災害時の被害情報の迅速な把握や、住民の避難支援など災害対応にデジタル技術を積極的に活用していくべきと考えるが、見解を伺いたい。

⑤消防団の充実強化について

本県においても、消防団に協力する企業に対して直接的にインセンティブが働くような取組を検討すべきと考えるが、見解を伺いたい。

⑥国際園芸博覧会における今後の県の取組について

「2027年国際園芸博覧会協会」が設立した今、国際園芸博覧会の開催に向けて、今後、県として、どのような協力を行っていくのか、見解を伺いたい。

⑦食品リサイクルの促進について

食品廃棄物のリサイクルを促進するため、県では、どのように取り組んでいくのか、見解を伺いたい。



川崎修平の登壇動画はこちら！



QRコードが読み取れない場合は、神奈川県議会のHPにある『インターネット議会中継』のページをご覧ください。

プロフィール

昭和53年12月生まれ
横浜市鶴見区の小学校・中学校を卒業 東海大学法学部卒業
おこのぎ八郎元衆議院議員の秘書として横浜市鶴見区を10年にわたり担当(公設秘書)

◆現在の役職◆

神奈川県議会議員(2期) 厚生常任委員会 部長/新型コロナウイルス感染症対策特別委員会 部長
自由民主党青年局中央常任委員会 議長
自由民主党神奈川県支部連合会 青年総局長/政務調査会 副会長

